

Janis 埋込手洗器 施工説明書

LS207型
LTCM331型

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様に保管頂くよう依頼してください。

FP535-1 22.04

安全のために必ずお守りください

※ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 …… 取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 …… 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます。

 …… 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。
必ずお読みになり、記載事項をお守りください）

 …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）

 …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です）

警告

 給排水工事・電気工事は、関連する法規・規定に従って有資格者が行ってください。
※漏水や火災、感電のおそれがあります。

 手洗器、キャビネット等の固定位置には、壁裏の補強をしてください。
※取付物の落下、転倒によりケガをするおそれがあります。

 浴室など高温多湿な場所や、水に浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります。

 ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災を起こすおそれがあります。

 修理技術者以外の方は、絶対に修理・改造は行わないでください。
※漏水や火災、感電のおそれがあります。

注意

 給水は上水道に接続してください。
※皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また器具の故障につながります。

 工事完了後に、手洗器、化粧鏡台等の固定にガタツキが無いか確認してください。
※使用中に落下してケガをするおそれがあります。

 工事完了後に、給排水管から漏水が無いか確認してください。
※漏水により家財に損害を与えるおそれがあります。

 凍結のおそれがある地域では、凍結防止の工事を行ってください。
※配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。

 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
※破損や故障、漏水の原因になります。手洗器は陶器製です。

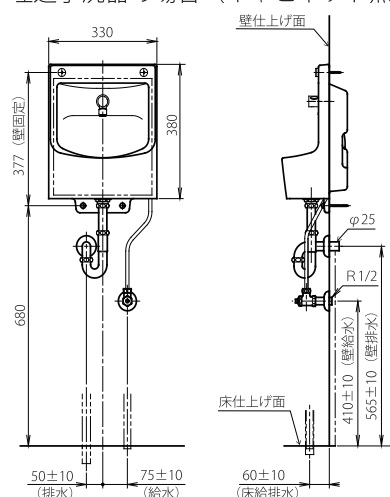
 直射日光が当たる場合は必ずカーテン等で遮ってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。※変色や変形の原因になります。

 不陸が5mm/2mを越える場所には施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

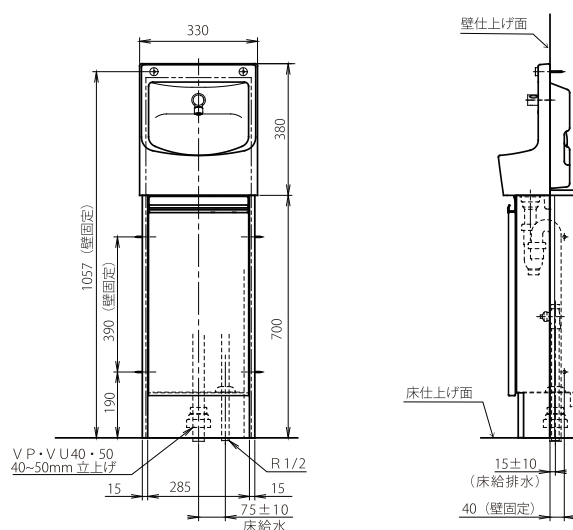
 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネット等を拭かないでください。
※変色や変形のおそれがあります。溶剤が付くと跡が残ることがあります。

寸法図

埋込手洗器の場合（キャビネット無し）



埋込手洗キャビの場合



施工前の確認

1. 給排水管の取出位置および水圧の確認

- 給水管および排水管が所定の位置に給排水管指定の仕様で取出してあることを確認してください。（寸法図参照）
- 給水圧力範囲は、最低必要水圧：0.05MPa（流動時）、最高水圧：0.75MPa（静止時）です。
この圧力範囲であることを確認してください。



注意



給水は上水道に接続してください。

（皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。
また器具の故障に繋がります。）

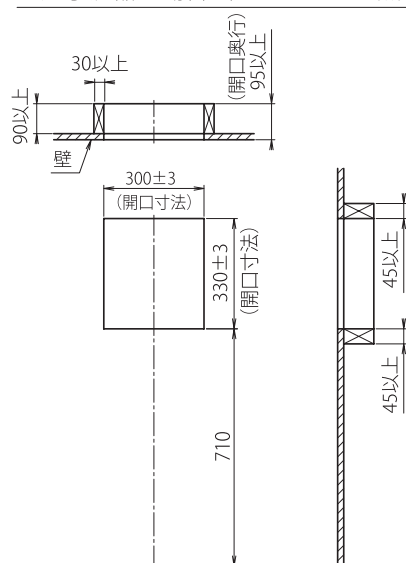
2. 床面の確認

- 設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
- 床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがぐらついたり、取付精度（納まり）が悪くなるおそれがあります。

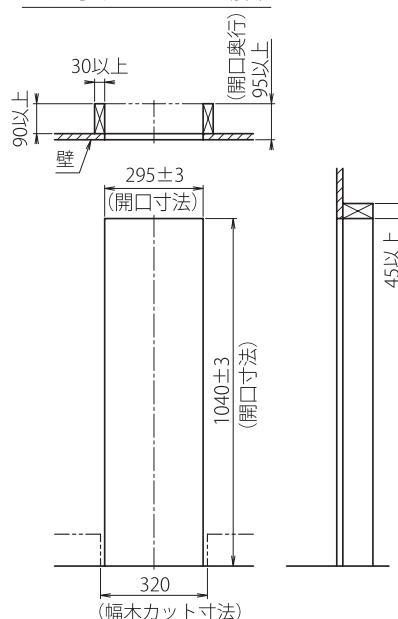
3. 壁開口・補強木の確認、幅木のカット

- 下図に示す位置にあらかじめ開口が必要となります。
壁の開口が指定通りに開けられているか、補強木が入っているかを確認してください。
- 下図の寸法で幅木をカットしてください。

埋込手洗器の場合（キャビネット無し）



埋込手洗キャビの場合



部品の確認

埋込手洗器（LS207型）

手洗器（水栓金具付）	1
排水器具	1
止水栓	1
固定金具セット	1
取扱説明書	1
施工説明書	1

※排水トラップ用の配管用アダプターは別途手配してください

埋込手洗キャビ（LTCM331型）

手洗器（水栓金具付）	1
キャビネット	1
排水器具	1
固定金具セット	1
底板	1
取扱説明書	1
施工説明書	1

※止水栓は別途手配してください

埋込手洗器の取付け（キャビネットの無い場合）

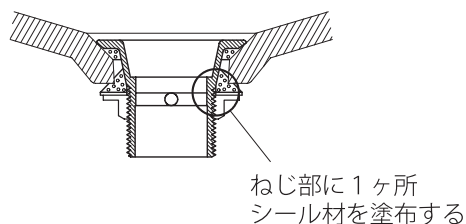
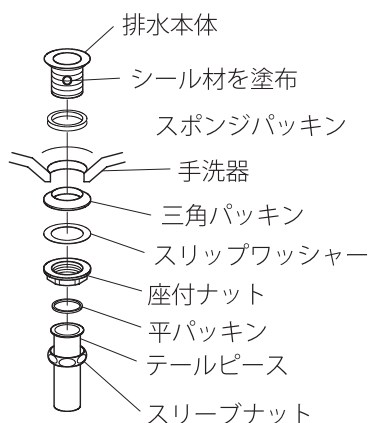
1. 水栓金具の確認

- 手洗器に水栓金具がしっかりと固定されていることを確認してください。

2. 排水器具の取付け

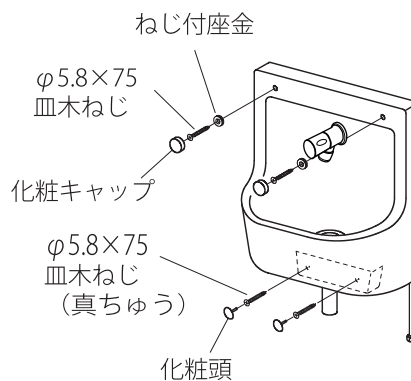
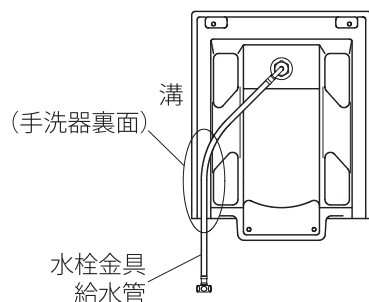
- 手洗器に排水器具を取付けます。

※排水本体の三角パッキンが当たるねじ部にシリコーン系シール材を塗布し座付ナットを締付けてください。



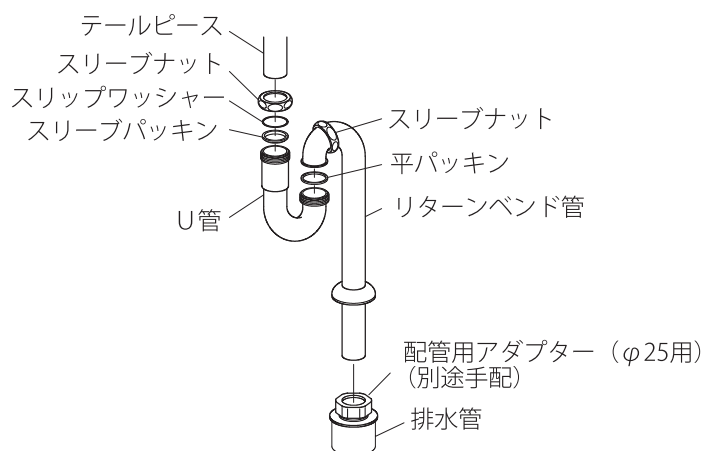
3. 手洗器の取付け

- 手洗器裏面の溝に水栓金具の給水管（ホース）を通し手洗器を壁の開口部に納め位置決めします。
※水栓金具の給水管が壁と手洗器に挟まれていないかを確認してください。
- 手洗器を固定金具で壁に固定します。



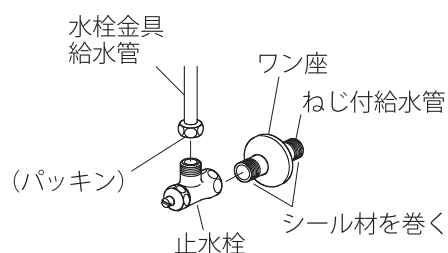
4. 排水トラップの取付け

- 排水トラップを手洗器と排水管に接続します。
※配管用アダプター（トラップ管径φ25）は、別途用意してください。



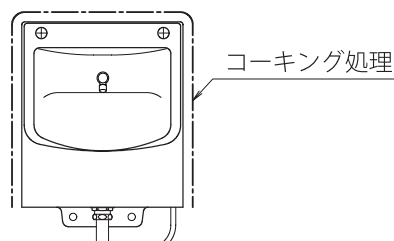
5. 止水栓の取付け

- 止水栓を取付け、水栓金具と接続します。
※止水栓の取付けはシールテープ等で確実に止水してください。



6. コーキング処理

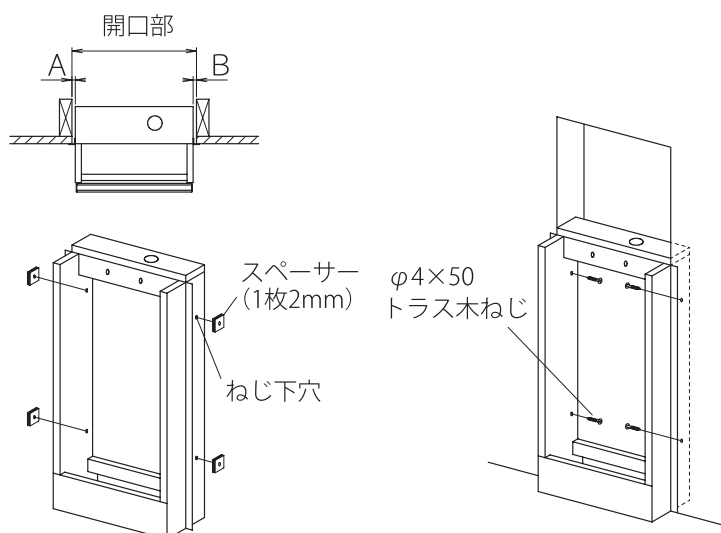
- 手洗器（陶器周囲）はシリコン系シール材でコーキング処理することをおすすめします。



埋込手洗キャビの取付け

1. キャビネットの取付け

- キャビネットを壁の開口部に仮置きし、開口部とキャビネットの隙間（A・B）を測定します。
- A・B寸法に合わせてねじ下穴位置にスペーサー（1枚2mm）を貼付けます。
- スペーサーが剥がれないようにキャビネットを開口部に納め、4本のねじで固定します。
※ねじを締め過ぎないようにしてください。キャビネットが変形することがあります。

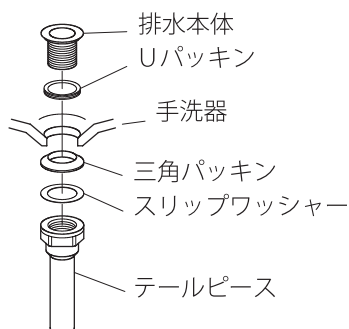


2. 水栓金具の確認

- 手洗器に水栓金具がしっかりと固定されていることを確認してください。

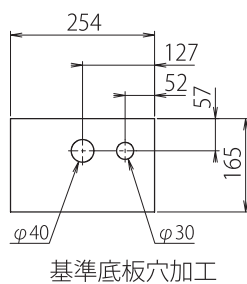
3. 排水器具の取付け

- 手洗器に排水器具を取付けます。



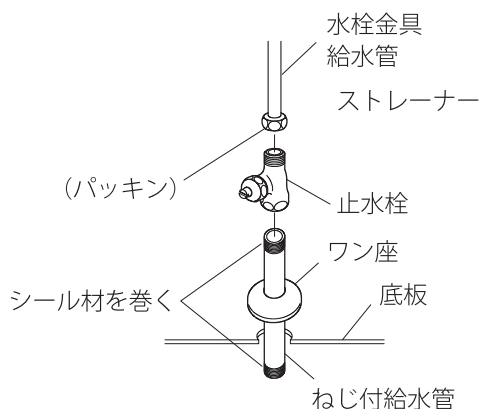
5. 底板の穴加工

- 給排水管の位置に合わせ底板に配管用の穴を開けます。



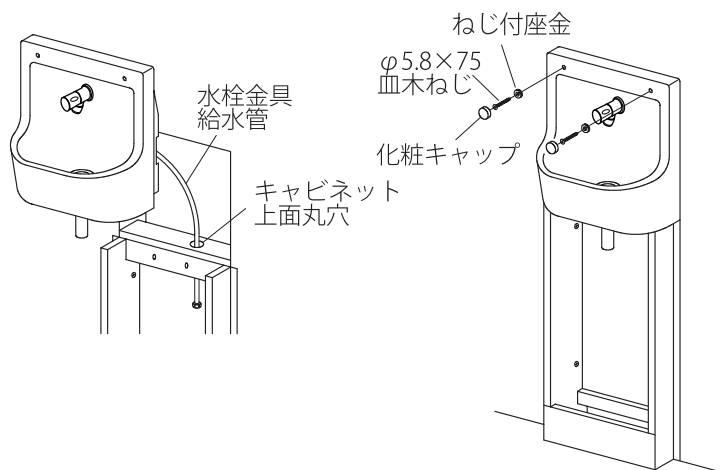
7. 止水栓の取付け

- 止水栓を取付け、水栓金具と接続します。
※止水栓の取付けはシールテープ等で確実に止水してください。
※止水栓は別売り品です。



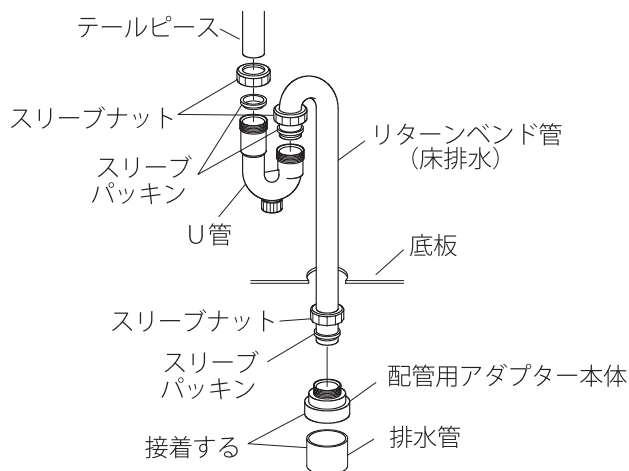
4. 手洗器の取付け

- キャビネット上面の丸穴に水栓金具の給水管を通し、手洗器を壁の開口部に納め位置決めします。
※水栓金具の給水管が壁と手洗器、キャビネットに挟まれていないかを確認してください。
・手洗器を固定金具で壁に固定します。



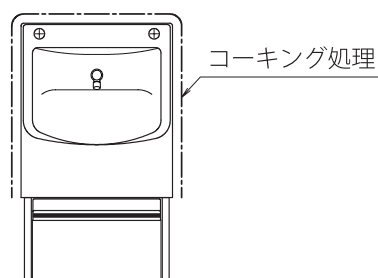
6. 排水トラップの取付け

- 排水トラップを手洗器と排水管に接続します。
※配管用アダプターは接着固定してください。



8. コーキング処理

- 手洗器（陶器周囲）はシリコン系シール材でコーキング処理することをおすすめします。



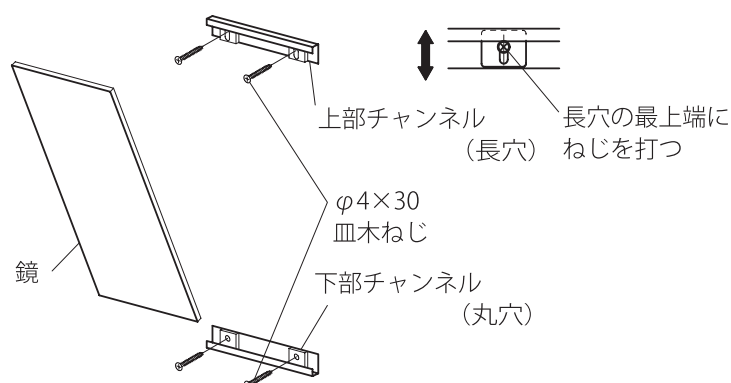
化粧鏡の取付け（別売り品）

※寸法図の取付位置を参考に、現物合わせで位置決めしてください。

1. 所定位置に下部チャンネル（丸穴側）を木ねじ（ $\phi 4 \times 30$ 皿）2本で壁に水平に固定します。
2. 位置決めのため下部チャンネルに鏡をはめ込み、上部チャンネルの位置出しを行います。
3. 一旦鏡を外し、位置出しした位置に上部チャンネル（長穴側）を木ねじ（ $\phi 4 \times 30$ 皿）2本で壁に水平に固定します。

※上部チャンネルがスライドさせられるよう、長穴の最上部に木ねじを締付けてください。

4. 鏡裏面のミラーマットの裏紙を剥がし、鏡を壁に貼付けながら下部チャンネルに鏡をはめ込み、上部チャンネルを下方にスライドさせ鏡を取付けます。



取付け後の確認・調整

1. 手洗器・キャビネットの固定の確認

- ・手洗器・キャビネットの固定にがたつき、ゆるみがないことを確認します。

2. 扉の調整

※扉にふぞろいが生じた場合、扉の調整を行ってください。

●前後調整

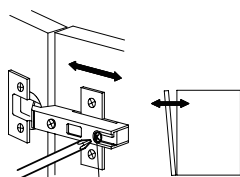
固定ねじをゆるめて扉を前後に動かし調整します。調整後は固定ねじを締直します。

●左右調整

固定ねじを締めたまま調整ねじを回して調整します。（調整後は固定ねじを増締めしてください）

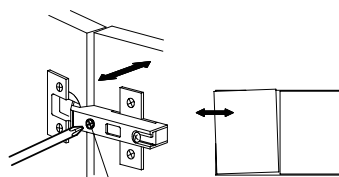
●上下調整

上下の蝶番の上下調整ねじ（四角の窓の奥）をゆるめて扉を上下させ調整し、上下調整ねじを締直します。



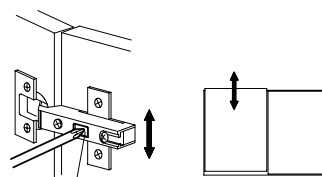
固定ねじ

●前後調整



調整ねじ

●左右調整



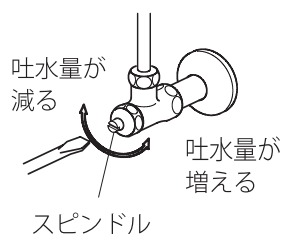
上下調整ねじ

●上下調整

3. 吐水の確認

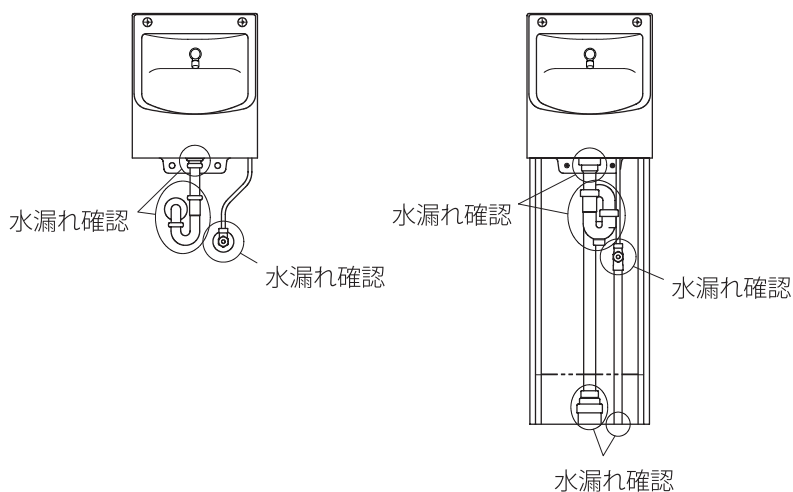
- ・水栓金具から吐水させ、手洗時に水はねのない様に止水栓の開度を調整します。

※吐水量は、最大で毎分4リットルが目安です。



4. 給水・排水接続部の確認

- ・水栓金具から吐水させ、給水管や排水管の接合部から水漏れがないかを確認します。



ジャニス工業株式会社

本 社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目8-8番地 TEL (0569) 35-3151